



で大きく成長された4名の6年生の皆さま
『平成29年度を振り返って』
 小学校のご卒業おめでとうございます。
 PTA会長 藤谷 和彦
 度は、少子・過疎化の影響での美川中学校

休校があり、何をすることも中学生がいない寂しさや影響がありました。そんな中、6年生をリーダーに2～6年生が助け合い、励まし合いながら、昨年まで以上の役割と行動を行って来ていたと思います。この経験が、皆さんの成長の上で貴重な体験となってくれることを願います。

6年生の保護者の皆さま、初めてのお子さまの小学校ご卒業は、感慨深いものとお喜び申し上げます。皆さまには、他の会員の皆さんと共に、今年度も一人一役以上のPTA活動を行っていただき、大変ありがとうございました。

例年より一足早く実施した5月の「プール清掃」、夏休み中の「プール監視」、「学校清掃」、「三世交代事業」や9月に地域の方々と盛り上がった「運動会」、「委員会活動」等、皆さまのご参加・ご協力がなければできないことばかりでした。

しかしながら、年々と人数が減り、以前のやり方では物事が進まなくなっております。子どもたちとPTAの力だけでは、学校・PTA活動の全ては行うことはできません。

学校運営協議会の皆さまをはじめ、地域の団体、ボランティアの方々に労を惜しまぬご支援・ご指導を引き続きいただいておりますことに、心より改めて感謝申し上げます。

また、子供達を熱心にご指導いただいた、校長先生はじめ先生方に、父兄を代表して厚く御礼申し上げます。

美川小に関わる全ての皆さま、これからも「美川の力」を結集して、学校から地域を盛り上げてまいりましょう。



『卒業生のみなさんへ』
 校長 山中 尚

寒かった今冬も3月になりようやく寒さが緩み始め、木々の芽吹きや鳥の鳴き声に春の訪れが感じられるようになりました。6年生のみなさん、この1年間、最上級生として美川小学校の諸行事で先頭に立っての活躍。本当にありがとう。感謝申し上げます。

昨年3月、美川中学校の休校に伴い、小中合同の活動を単独で実施することになりました。頼るべき先輩がないまま先頭に立つことになったみなさんを、地域や保護者の方が陰になり日向になり支え励ましてくださったのではないかと思います。さて、みなさんは「おかげ様」という言葉を知っていますか。「お陰様で無事に〇〇できました。」「うまくいったのは〇〇のお陰です。」というように使います。みなさんの回りには「お陰」がたくさんあると思います。さあ、いくつ(何人)思い出せるでしょうか。支え、励ましてくださった方たち一人一人が、皆、みなさんの健やかな成長を願い、惜しみなく愛情を注いでくださっていることを再確認して感謝の気持ちをしっかりともってほしいと思います。

ところで、見えないところで支えてくださる「お陰」はいくつ想像できたでしょうか。例えば、水道や電気。安心して使えるように点検をしてくださる方の「お陰」ですね。まだあります。机、いす、パソコン…。これらは地域の方から寄付していただいたり、国民が税金として納めたお金を使って買ったりしています。これも立派な「お陰」だと思います。どうかこのような「お陰」にもたくさん気づき、豊かな心を大きく育ててくれることを願っています。

地域、保護者の皆様には、この1年間本校の教育活動に多大なご支援をいただき誠にありがとうございました。子どもたちは「愛情」のシャワーをしっかりと浴びて豊かな心を育てることができました。これからも、夢に向かってたくましく生きる心豊かな美川の子の育成にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

編集後記

3号担当 中村雅美・田中大智・升本佳世子

今年も当初の予定通り、毎学期末に3回の「スマイル」を発行することができました。子どもたちの様子だけでなく、関わっていただいた地域の方々にも記事をお願いすることもありました。

特に今回は全児童、6年生の保護者の皆さん、先生方にもご協力いただきました。美川小学校全員で作った「スマイル」になりました。たくさんの皆様、ご協力をいただきありがとうございました。